

沼垂 かがみ



〈学校の教育目標〉

- よく考える子
- 力をあわせる子
- 体をきたえる子

〈児童数〉

369名
(家庭数 299)

発行 新潟市立沼垂小学校 広報部
TEL (247) 5326 FAX (247) 5327

ホームページ <http://www.nuttari.city-niigata.ed.jp/>

学校のページを
随時更新しています。
是非ご覧ください。



今月号の内容

- 巻頭言
- 各学年の行事
- かがやき遠足
- 沼垂っ子の活躍

目指せ！「アンパンマン」！

教頭 櫻 井 朝 之

世代を超えて人気のある「アンパンマン」が絵本に登場して今年で五十年。今年には作者であるやなせたかしさんが亡くなって十年という節目の年です。

困っている人やおなかをすかしている人がいると、どこからか飛んで来て自分の顔を差し出す「アンパンマン」。顔が全部なくなればジャムおじさんに新しい顔をつくってもらい、再び困っている人のもとへ駆け付ける。弱者を助けるみんなのヒーローです。私の息子も、そして私自身も夢中になって絵本やテレビを見ていました。

しかし、五十年前の発表当時は「顔を食べさせるなんて残酷だ」「図書館に置くべきではない」と批判され、出版社からも「こんな絵本はもう描かないでください」と言われたそうです。それでもアンパンマンを描き続けたのは、作者であるやなせさんが戦時中に飢えに苦しんだ経験からきています。「目の前で飢えている人がいたならば、食べ物分け与えるのは当たり前前の行為だ」という強い信念をもっていらしたそうです。

「はひふへほー」でお馴染みのアンパンマンの敵であるばいきんまんは、あまり悪者らしくありません。ドキンちゃんのわがままに振り回されてばかりで、「とどめだ！」と叫ぶわりに、アンパンマンをとことんやつついたり、はしません。アンパンマンもアンパン

子を放つものの、逃げ帰るばいきんまんをとことん追い詰めたりはしません。作品を読んで感じるのは、「共生」というやなせさんの強いメッセージです。

沼垂小学校では、自己の成長だけでなく、仲間や集団の成長を願う自律的に行動できる『支持的風土の醸成』を目指し、様々な教育活動に取り組んでいます。具体的には六月に実施した「ありがとう運動」や、日々の清掃や遠足で実施した「かがやきグループ」活動です。「牛乳をこぼしてしまったときに一緒に雑巾で拭いてくれてありがとう」「○○さんって、縄跳びが上手だね」という言葉があふれる学年・学級。遠足の帰路で疲れて動けない一年生のリュックサックを持って歩く六年生の姿。「失敗や間違いを許し合える」「互いの良さと違いを認め合える」といったことが子どもたちの中で当たり前にあふれる沼垂小学校であり続けたいと思います。

アンパンマンの主題歌「アンパンマンのマーチ」の歌詞の中には「なんのために生まれて、なにをして生きるのか」と、作詞したやなせさんの思いが つづられています。分かち合うことは人と人とのつながりの基本。これからも沼垂小学校にたくさんのアンパンマンが誕生することを願っています。